

十二月は銀鼠

校長 矢野 尊久

師走に入り、カレンダーも一枚となりました。そのカレンダーですが、私の机上には「日本の色」という日本の古色を使った月替わりに色の違うカレンダーがあります。12月の色は銀鼠（ぎんねず）になっています。銀鼠とは薄い灰色ですが、鈍く光る銀のような色合いで、淡く渋い色合いは、どこか優雅で落ち着きを感じさせてくれます。灰色は古くは、鈍色（にびいろ）と呼ばれ、墨染などと呼ばれた喪の色に使われていたそうですが、これを江戸時代の庶民が大黒様の使いとされる鼠の名前を借り、この色を粹な流行色として茶色と並ぶ二代流行色に変えたようです。色の由来ひとつにも昔の人々の感性が感じられる話です。



さて感性というと、人によっては「私はセンスないから……」といことお話しされる方もいて、生まれつきもっているイメージですが、よく「感性を磨く」という言葉もあるぐらいで、何歳からでもどこでも磨くことができるといわれています。それは感性というものが、物事への考え方や見方に関係しているといわれているからです。しかし情報化社会においては多くの情報が簡単に提供され、インターネットなどで調べれば済むとい状況などから、あまりよく考えなくてもよく、時間をかけて思考するなどの習慣が減ってきています。そうなってくると自分で深く考えなくてもよくなり、それはある意味、感性の鈍りにつながっていくことになります。その状況においては身近な事柄や人への対応が曖昧になり、適当になっていくことさえ心配されます。よりよい感生を養うためには、深く思考すること、深く見ること、他とは違う価値として多角的に思考していくことが大切になってくるのではないのでしょうか。つまり、日頃の生活や対人関係において気を配り、漠然と過ごさないで、見過ごしていかないでよく見る、しっかり考えることを習慣づけることが感性を磨くスタートになるのです。

明保中学校では11月にふれあい月間として担任等による生徒一人ひとりとの面談をしています。ここでのやりとりはわずか10分程度ですが、教師としての感性が重要です。教師としての感性を最大限に使うことで、普段は見過ごしていることを子どもたちとの何気ない会話から悩みや喜びを感じ取り、傾聴したり同意したりすることで子どもとの絆が高まっていくばかりか生徒理解への大事な一歩となるからです。教師に求められる感性があれば、こういった機会にこそ発揮されるべきだと思います。12月には毎年、体罰防止の月にもなっています。体罰や不適切な言動は教師として行ってはならないものです。体罰が原因で不登校になったというニュースも話題になっていますが、生徒の将来や夢をつぶさないためにも私たち教師はコミュニケーションを通して指導する、そして指導する際には、なぜ指導するのか、何を指導しているのかを分かり安く説明して生徒が自ら反省する態度に結びつけることが肝心となってきます。生徒の心や体に深い傷を残さないためにもふれあい月間の面談と同様に感性が基本となるのではないのでしょうか。深く考え、深く見て、多角的に生徒を見ていくことで生徒理解もつながり、生徒に寄り添うことで、感情の高ぶりからの体罰や不適切な言動の防止にもつながると思っています。

◇12月・1月の主な予定◇

月	日	曜	内容	月	日	曜	内容
12月	14	木	国際交流マレーシアの方の参観（2年）	1月	5	金	冬季休業終
	15	金	入試相談（3年）		8	月	成人の日 どんどこ焼き
	18	月	一斉委員会		9	火	始業式 C時間割開始
	19	火	どんどこ焼きボランティア説明会		10	水	給食開始
	20	水	英検講座		13	土	土曜授業参観
	21	木	スキー教室保護者説明会（1年生）		15	月	生徒会朝礼
	22	金	給食終了 大掃除⑤⑥校時		19	金	校外学習（2年）英語検定1次
	25	月	終業式		20	土	市作品展開始（22日月曜日まで）

◇第9回中学生「東京駅伝」大会結団式◇

11月28日に保谷庁舎で丸山浩一市長や木村俊二教育長が参加され、西東京市中学校9校の中学生「東京駅伝」大会代表選手の結団式が行われました。本校からは男子4人、女子2人が選ばれおり選手証や当日使用するスタジアムコートなどを受け取りました。これから選手たちは大会に向けて柳沢中学校での2回の練習、会場となる味の素スタジアム特設コースでの試走会等で走り込んでいきます。本番の大会は来年の2月4日（日）10時に女子のスタート、13時に男子のスタートとなります。これから正式メンバーが決定され、どの区間を走るかも決まってきます。代表選手の生徒たちの活躍を期待したいと思います。



◇夢・未来講演会◇

「夢をかなえるために、未来で活躍するために、わたしたちに今できること」をテーマに西東京市教育委員会主催によるパネルディスカッションと講演会がありました。本校も生徒会を中心に生徒が参加しました。会場となったこもれび小ホールでは、パネルディスカッションのテーマとして各学校の代表の生徒が夢をかなえたり、未来に活躍したりするために、自分が今できることを発表したり話し合ったりしました。最後に今回の講師としていらっしゃった前伊藤忠商事株式会社取締役会長・元中華人民共和国駐劔特命全権大使である丹羽宇一郎氏から講演をいただき、夢を実現させるための氏の様々な体験談を聞くことができました。



◇冬の部活動の様子◇

美術部……はたらく消防写生会 防災ポスターの部 優秀賞

女子ソフトテニス部……11ブロックソフトテニス廣瀬杯 優勝 明保A

11ブロックソフトテニス冬季大会 優勝 明保B 第3位明保C

◇生徒会サミット開催◇

今年で9回目となる生徒会サミットが開催され、本校の生徒会メンバーも参加して発表してきました。今年度のテーマは「より良い学校、より良い学校を目指した生徒会の取組」でした。会場となった保谷庁舎では、市内9校の生徒会本部役員がテーマに基づいた活動や苦勞を紹介し、本校生徒会メンバーもスライドやレジメなどを使って説明しました。中でも地域の衣料店と連携した古着回収の取組やフランスとの交流の取組は、他校にない特色ある取組として注目を集めていました。

◇本校の発表の内容◇

- ・より良い学校…壁新聞や生徒会便りについて、意見箱について
- ・より良い地域…古着回収での服の寄付活動について
- ・その他の活動…生徒会朝礼やフランスとの手紙交換について
- ・生徒と地域のつながりを深める架け橋となるように発信



◇明保中学校ホームページは毎日更新！◇ 詳しい情報はホームページにも掲載しています。是非ご覧ください。